



2

だいじょうぶ だいじょうぶ (1)

漢字をおぼえよう………

漢字

新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

境	経	在	過	増	像
境境境境境	経経経経経	在在在在在	過過過過過	増増増増増	像像像像像
キョウ	ケイ	ザイ	カ	ゾウ	ゾウ
さかい	へる	ある	すぎる	ます	ます
例境界	例経度	例在来	例過失	例増大	例石像
⑭土	⑪糸	⑥土	⑫之	⑭土	⑭人
境	経	在	過	増	像
眼	益	象	現	像	像
ガン	エキ	ショウ	ゲン	ゾウ	ゾウ
例肉眼	例実益	例象	例あらわれる	例石像	例石像
⑪目	⑩皿	⑫豕	⑪玉	⑪玉	⑪玉
眼	益	象	現	像	像
眼眼眼眼眼	益益益益益	象象象象象	現現現現現	像像像像像	像像像像像
眼	益	象	現	像	像
眼眼眼眼眼	益益益益益	象象象象象	現現現現現	像像像像像	像像像像像
眼	益	象	現	像	像
眼眼眼眼眼	益益益益益	象象象象象	現現現現現	像像像像像	像像像像像
眼	益	象	現	像	像
眼眼眼眼眼	益益益益益	象象象象象	現現現現現	像像像像像	像像像像像
眼	益	象	現	像	像
眼眼眼眼眼	益益益益益	象象象象象	現現現現現	像像像像像	像像像像像
眼	益	象	現	像	像
眼眼眼眼眼	益益益益益	象象象象象	現現現現現	像像像像像	像像像像像

読み方が新しい漢字——読みがなを書きましよう。

③	①
合同練習	船が出る
↓	↓
④	②
合戦場	船着場

学習のポイント

- ① 言葉にこめられた気持ちや思いを想像しよう。
- ② 物語の中の時間の経過をとらえよう。

漢字の練習

1 次の——線の漢字の読みがなを書きましよう。

- ① 友人が増える
- ② 未来を想像する
- ③ 過去の栄光
- ④ 現在にいたる
- ⑤ 印象をあたえる
- ⑥ 年月の経過
- ⑦ 増益を見こむ
- ⑧ 県の境に立つ
- ⑨ 眼球が動く
- ⑩ 船着場の入口
- ⑪ 合戦場へ向かう

2 次の□にあてはまる漢字を書きましよう。

(1)

① 写真を現□<sub>ぞう</sub>する。

② □<sub>ぞう</sub>の鼻は長い。

(2)

① 自分の□<sub>けい</sub>験。

② 円の直□<sub>けい</sub>。

学習日

月  
日

# 文章の流れをつかもう

「だいたい」が「だいたい」のあらすじを、文章の流れにそつて次のようにまとめました。□①～⑤にあてはまる言葉をあとから選び、書きましよう。

## 場面1

ぼくとおじいちゃんの毎日の

□① は、ぼ

うけんのような楽しさにあふれていた。

□② にかかったみたいで周りが広がった。

発見や出会いが増えると、こまったことやこわいことも増えた。

犬はうなり、くみちゃんは顔を

□③ 。

## 場面2

・このまま大きくなれそうにないと、思うこともあった。  
 ・おじいちゃんはぼくの手をにぎり、「だいたい」が、だいたい「だいたい」と言ってくれた。

□④ 「だいたい」を何度もくり返した。

・けんちゃんやくみちゃんとも、いつの間にか

□⑤ になった。

・もつとたくさんの人や動物や草や木に出会えると思った。

□⑥ 「ぼく」は大きくなり、「おじいちゃん」は年を取った。

・ぼくはおじいちゃんの手を

□⑦ 、「だ

じょうぶ、だいたい」を何度でもくり返す。

## 場面4

仲良く にぎり まほう しかめる お散歩

# 言葉の意味を確にんしよう

次の言葉の意味を書きましよう。

⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		★	
意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉
	治る		無理		おすまし		お向かい		発見		あふれる		ぼうけん		のんびりと
	例 長引いていたかぜが治る。		例 かばんに服を無理につめこむ。		例 妹はおすましの女の子だ。		例 お向かいの荷物をあずかる。		例 めずらしい植物を発見する。		例 大雨で川があふれる。		例 ぼうけんの旅に出る。		例 のんびりとひるねをする。

心や体がゆったりとしている様子。